

「ナイン」の構造

目的 目標

「ナイン」のドラマティック性はどこにあるのか理解する。

「ナイン」のストーリーの構造を次の文章をもととして、みんなが説明できる。

「ナイン」は「変化したもの」と「変化しないもの」の対立であり、「ナイン」において「変化したもの」の代表は(A)であり、「変化しないもの」の代表は(B)である。そして最終的には(C)が(变化したもの・変化しないもの)の重要性に気づく。

「ナイン」の中に表れる「変化したもの」・「変化しないもの」をそれぞれ列挙しよう。

変化したもの
変化しないもの



物語の構造とは？

とてもシンプルだ。次の二文に尽きる。

登場人物が「旅」をして、「逆転」する。

「旅」とは……本当の旅だつたり、心の中で思いをめぐらせることだつたり、時間が過ぎたり、闘つたり、悩んだりなど、様々な場合がある。

「逆転」とは……今まで劣勢だつたものが優勢になつたり、その逆だつたり、「悪」だつたものが「善」になつたり、その逆だつたり、わからないことがわかるようになつたり、など、争いや戦い、葛藤により、『旅立ち』と『結末』では、立場が変化することをいう。

具体例：「水戸黄門」

(優勢)

卷之三

(A) 悪代官・越後屋

(B) 町人・町娘
(b) 【善】の象徴

助さんが紋所を悪代官に見せる

(B) 町人や町娘が助かる (b) 【善】の勝利	(A) 悪代官と越後屋がひれ伏す (a) 【惡】の敗退
-----------------------------	--------------------------------

君は必ず感び、君は報われる。

結末

『旅』黄門様一行がスパイとなり（おとり捜査をして）悪を暴く。